

**【総評】**

受験生の皆さんお疲れ様でした。入試直前に学校が休校となる異例の事態の中、不安を感じながらも全力で入試にのぞまれたことと思います。自分の持っている力を十分に発揮できたでしょうか。思うように得点の伸びなかった人、普段なら解ける問題をミスしてしまった人など、いろいろな人がいることでしょう。教科の得意・不得意などにより達成感も人それぞれと思いますが、まずは全力を尽くした皆さんに拍手を送りたいと思います。高校入試は、中学生の皆さんにとって人生の節目であることは間違いありませんが、最も重要なのは、今回の経験を今後どのように生かしていくかということです。高校入試に向けて精一杯頑張った人は、結果の如何に関わらず、今後の人生の節目においてもしっかりと自信を持って進んでいけるでしょう。「自分はもう少し頑張れたのではないか」「もっと頑張れば良かった」と考えている人は、今後の大学入試などの機会には同じ失敗を繰り返さずに精一杯頑張って前に進んでください。その経験が皆さんを強くし、今後の人生の糧になるはずです。ぜんけん模試事務局も、皆さんの今後の頑張りを影ながら応援しております。また、保護者の方々は、受験したお子さん以上に「やっと終わったか…」という安堵のため息をついておられることと思います。本当にお疲れ様でした。

以下、今年の入試について簡単にコメントいたします。

**【難易度】**

5教科の合計としては、昨年と同程度～やや難の水準と考えられ、大きな変動とはならないでしょう。教科別に見ると、数学・英語は受験者の学力層によっては難しく感じられたかもしれません。

**【出題内容】**

入試制度の変更があった中で、出題形式にも注目しておりましたが、昨年の後期選抜を踏襲した形で、大きな変更はありませんでした。受験生の皆さんも落ちついて対応できたことと思います。今年も、表やグラフなどの読み取りや表現力に重点をおかれた出題が多く、今後の新学習指導要領の実施に向けて、このような傾向が加速していくと考えられます。

**【国語】**

- 難易度…全体的に易しいですが、難問もあるため、平均点は昨年と同じくらいか、やや下がると予想されま
- す。
- 構成…大問構成に変更はありませんでした。第一問（漢字・実用的文章）の配点が昨年より4点増え、第二
- 問（文学的文章）と第三問（説明的文章）がそれぞれ2点ずつ減りました。出題内容に大きな変化はありません
- でしたが、文学的文章に加え、説明的文章、古文でも対話の問いが出題されました。
- 第一問（漢字・熟語・実用的文章）…問題数が2問増え、例年、前期で出題されていた漢字・熟語問題が出
- 題されました。問一～問三（漢字・熟語）は基本的な内容です。問四は、昨年よりやや難しいと思われま
- す。
- 第二問（文学的文章）…問四は、文中に直接的な表現がないため、難しかったと思われま
- す。問五は、アか
- エで迷った人も多いのではないのでしょうか。
- 第三問（説明的文章）…昨年と比べてやや難しい出題です。問三のBに当てはまる表現は、見つけにくかつ
- たと思われま
- す。
- 第四問（古文）…昨年と比べて難しい出題です。問二（一）は、「対比」されているものに気づけたかどう
- かがポイント
- です。
- 第五問（作文）…ここ数年、連続して出題されていた「複数のものから1つを選び、それについての考えな
- どを書く」
- パターンではないものが出題されましたが、「文章を読み、自分の考えと、そのように考えた理
- 由を書く」というオーソドックスなパターンなので、比較的書きやすかったと思われま
- す。

## 【数学】

- 難易度…第二問が昨年より難しく、時間のかかる問いもいくつかありました。上位層にとっては昨年よりやや易しいですが、中～下位層には昨年にくらべても難しく感じられたのではないのでしょうか。
- 構成・形式…第三問は、昨年に引き続き資料の活用・方程式・速さをからめた総合問題で、思考力と活用力を問われる出題となりました。それ以外の構成は例年通りです。
- 第一問…難問が少なく取り組み易いですが、7（平方根の正負）、8（おうぎ形の面積・円周角）など、中下位の生徒にとっては苦手な出題もありました。
- 第二問…各問いの(2)は読解力や解き方の工夫を要求される問いが多く、中・下位の生徒にとって得点しづらかったと思います。1は文章通りの立式が難しく、2は「起こらない確率」を利用する、4は文字式などを利用して整理する必要性がありました。
- 第三問…1の統計は易しめでした。2は昨年よりは易しめですが、(1)ができていないと(2)に進めない構成だったため、(1)でつまづき全体をとりこぼした生徒も多かったのではないかと思います。(2)もグラフの横軸と縦軸が普段とは逆のグラフに戸惑った人が多いと思います。
- 第四問…小問数が4に戻りました。例年にくらべて素直な出題で取り組みやすかったと思いますが、第三問までに相当時間を使ったと思いますので、正確に計算し得点できたかどうか。証明は「二直線の平行」を線分の比を使って証明する問題で、書き慣れず戸惑った人が多いと思います。

## 【社会】

- 難易度…昨年よりやや易しい出題でした。平均点は昨年（58.5点）より上がることが予想されます。
- 構成・形式…例年通りの大問構成で、全体の小問数は30問。配点は各大問とも20点でした。形式は、例年と同様でしたが、昨年度出題された作図問題がなくなりました。
- 第一問（地理）…オセアニア州に関する問題でした。3(2)②の記述問題では、資料Dの放牧と資料Eの費用の関係性について書けばよいので、解答しやすかったのではないかと思います。
- 第二問（歴史）…古代から近世の文学の歴史に関する問題でした。6(2)の記述問題は資料A、資料Bから利点を読み取り、出版の規制と独占についてまとめる力が必要とされました。
- 第三問（公民）…企業の役割と労働者の権利に関する問題でした。5は職場環境という時事問題のような内容を答える問題でした。難易度はそれほど高くなく、得点しやすい記述問題だったと予想されます。
- 第四問（地理・歴史）…東海地域を題材とした問題でした。3(2)では2つの調査結果についてまとめて書く力が求められました。見慣れない問題で難しいと感じる受験生も多かったと予想されます。
- 第五問（歴史・公民）…日本の鉄道と社会のようすに関する問題でした。語句で解答する問題を含め、難易度の高い出題はありませんでしたが、6の記述問題は、3つの資料の内容について自分の言葉でまとめる力が必要とされました。

## 【理科】

- 難易度…標準的な難易度の問題が多く出題されていましたが、書きにくい記述がいくつかあったことから、平均点は昨年（55.7点）と同程度になると思われます。
- 構成…例年通りの形式でした。全体の小問数は32問で、配点は第一問が36点、第二問から第五問は各16点でした。完全解答は1問、記述は4問、作図は1問でした。
- 第一問（小問集合）…刺激と反応（生物）、気体（化学）、音（物理）、気象観測（地学）からの出題でした。どれも基本的な問題でしたので、取りこぼすことなく確実に得点したいところです。また、第一問で記述が出題されました。
- 第二問（化学・中和）…水酸化ナトリウム水溶液と塩酸の中和に関する問題でした。基本事項に関する出題が多く、解答しやすかったと思われます。例年、化学分野の最後の問題は計算問題でしたが、今年は計算問題自体が出題されませんでした。
- 第三問（地学・天体）…月とオリオン座の観察に関する問題でした。3(1)の記述は書きにくかったかもしれませんが、その他は平易な問題でしたので、取りこぼさず確実に得点したいところです。
- 第四問（生物・蒸散）…植物の蒸散に関する問題でした。1～4はオーソドックスな内容で、しっかりと準備していた人にとっては、非常に簡単だったのではないのでしょうか。5の記述は見慣れない内容で、表2の結果を正しく読み取れたかがポイントでした。
- 第五問（物理・電流と磁界）…電流が磁界から受ける力に関する問題でした。電流や磁界に加え、物体の運動や、力の規則性についても出題がある融合的問題でしたが、極端に難しい出題はなく、各分野の内容を理解していれば確実に得点をのばせたと思われます。

## 【英語】

- 難易度…全体としては昨年よりも難しい出題になったと思われます。難問はありませんでしたが、大多数が解けるような易しい問いも少なかったように思います。
- 構成…大問構成は例年通りでしたが、第二問以外では多少の出題形式・配点の変更がありました。
- 第一問（リスニング）…一部分ではなく全体を聞き取って理解することが求められる出題が多く、難度は高めだったのではないのでしょうか。また、全体の構成・配点は昨年同様でしたが、問題4の形式変更がありました。会話の内容を正確に聞き取った上で英文を書かなければならないため、昨年より難度は上がったと思われる。
- 第二問（小問集合）…配点・出題形式は昨年と同じでした。基礎的な内容に関する出題で、難問はありませんでした。
- 第三問（長文読解）…設問数は昨年と同じでしたが、すべて1題4点となり、全体で1点減りました。オーソドックスな内容・展開の文章で、複雑な文構造もなかったため、読み取りやすかったのではないのでしょうか。各問いも解きやすいものが多かったと思います。
- 第四問（長文読解）…配点は全体で2点増え、組み合わせ選択や段落ごとの話題を選択する問いなど、目新しい出題もありました。プラスチックに関する環境問題が題材で読みづらさはあるものの、長文自体に難しい文構造はありませんでした。
- 第五問（英作文）…昼食で訪れるレストランを選ぶという身近な題材でした。昨年と同様に、1文・3文以上で表す英作文2題の出題でしたが、文章量が減ったかわりに与えられた資料の読み取りを含むものになりました。配点は全体で1点減りました。